



コスモピア

2025春 vol.119

社会福祉法人 秋桜会

〒716-1401 岡山県真庭市五名574-1
TEL 0866-52-4771 FAX 0866-52-4772
Eメール kosumosunosono@kosumosukai.jp
ホームページ kosumosukai.jp



障害者支援施設 コスモスの園 就労継続支援B型事業 コスモスワーク 共同生活援助事業 コスモス共同生活事業所
相談支援事業 サポートステーションコスモス 放課後児童健全育成事業 ほくぼう児童クラブ



能登半島の方へ届けたい

折々の記

地域共生社会に向けてその十五

『これからの交流を考える』

社会福祉法人 秋桜会

理事長 奥田健治

「アンコンシヤスバイアス克服のための交流活動」

石破茂総理は通常国会の所信表明でアンコンシヤスバイアス(無意識の思い込み)を払拭すべく男女の賃金格差は正への方針を表明されたのでビックリです。つまり無意識の偏見や差別意識は社会に広がり、共生社会実現の障壁なのですね。だから交流活動で無意識の思い込みを克服することができたから素敵です。わが施設でも小中学生から地域の方々まで各世代と様々な交流活動を進めています。障害者へのアンコンシヤスバイアスを解消することのできる交流方法を考えたいと思います。その方法を考えましよう。

まず基本的なこと(私の経験と研究から考える)

① 障害者と行事で交流したり日常交流したりしている児童はそうでない児童と比べて、受容的な気持ちが高いようです。
② 障害者へのボランティア活動や友人に障害がある学生の場合は、受け入れる気持ちが高いようです。(園で実習を受けた大学生の感想からわかります)

③ 障害者と協同作業すると、偏見解消に最も効果があるようです。
④ 単に交流するのでなく、両者が「交流してよかった(報われた)」と感じられる交流で、偏見の態度が変容するようです。

では偏見の態度を変える障害者との接触条件とは何か?

- ① 偏見と一致しないポジティブ(プラス)な気持ちになる接触
- ② 障害者を個人として見るような接触(健康者と異なる集団として見ない)
- ③ 障害者との類似性に着目させる接触(異質や差異に着目させない)
- ④ 計画的でポジティブな相互作用できる接触

⑤ 接触する相手との対等な関係が作り出せる接触

つまり協同による接触が①～⑤までのすべての条件を満たしています

園での10日間の教育実習では協同による接触を取り入れながら①～⑤に注視した実習指導を行っています。

⑦ 10日間の活動経験は学生にとつてこの上ない自己変容の場となっています。

① 特に園での知的障害者との活動は変容の度合いが実に大きいです。さらに園での知的障害者との直接な経験は冠雪経験をはるかに超えて自己変容させます。

園で福祉実習を終えたある女子学生の言葉から

「私にとって障がい者施設での実習は初めての機会でしたので、学ぶことが多くとても有意義なものとなりました。支援方法が一律でなく個々の状態や特性に応じた配慮が必要であることを学びました。例えば、言葉でのコミュニケーションが難しい利用者様には、表情やジェスチャーを使ったサポートが必要であり、その方が安心して過ごせるよう、細かな気配りが求められることに気づきました。また職員の皆様がどんな小さな変化にも気づき適切に対応している姿を見て、信頼関係は一度で築けるものではなく日々の積み重ねが必要であることを理解しました。利用者が安心して過ごせるよう毎日の言葉掛けや接し方がどれだけ重要か、そしてそのひとつひとつが信頼を育んでいくということを学びました。さらに信頼関係は利用者様だけでなく施設の職員間でも大切にされているのを感じました。職員同士の連携や情報共有がより良い支援を提供するために欠かせないことを実感し、今後はどんな小さなことでもしっかりと伝え合う姿が重要だと学びました。今後はさらに障がい者福祉について理解を深めていきたいと思っています。(以下略)」

経験に勝る学習はないですね。こういった実習生を指導した担当職員もわかることながら、卒業後、支援員としてわが施設に足向けたいと思うことを切望しながらとりあえず本号のまとめとします。

社会福祉法人秋桜会 令和7年度 事業計画

秋桜会では、運営している障害者支援施設及び共同生活援助事業並びに就労継続支援B型事業の利用者の高齢化、障害の重度化に対応した支援を提供するとともに、地域で暮らす障害のある方も適切なサービスが利用できるように計画相談・障害児相談支援事業も運営します。放課後児童健全育成事業を運営し、子育て支援にも併せて取り組みます。また、地域の高齢者、障害者を対象とした買い物送迎サービスを引き続き運行するなど、地域貢献活動にも取り組みます。

適正かつ活力のある法人経営に努め、事業運営の透明性の向上を目的とした情報公開を続け、法人が有する資源や機能、人材を活用し地域に根ざした事業運営を進めていきます。今年度は、コスモスの園移転設建て替え建設工事が開始となり、令和8年度には旧上水田小学校跡地に完成する「新舎コスモスの園」へ移転します。今以上に地域との連携を大切に、地域住民とのコミュニケーションを重視し、意見交換や情報共有を積極的に行い、地域の一員として皆さまと一緒に地域を盛り上げていきたいと考えています。

コスモスの園

1 障害者支援施設(施設入所事業)及び生活介護事業

施設移転建て替え建設工事が開始する年となり、関係機関や地域からの理解と協力をより進め、計画に沿った建設着工を行います。建設費、物価高騰等、経営にとって逆風となる中で安定した事業の運営に努めます。更に、「地域連携推進会議」の開催が義務化されたことにより地域の方からの助言をいただきながら改めて運営の透明性を高め、サービスの質の確保を考え、事業運営に活かしていくことを推進してまいります。

健康支援では高齢化・重度化による事故防止に努めると共に、感染症に対する対応は油断せず、一方で過度に怖がらず支援し、活動の確保に配慮していきます。職員は利用者の意志決定支援を改めて重要視するために利用者個々の思いをくみ取り、利用者の生きがいに繋げると共に、各種委員会の活性化を図り支援力が高まるように努めて参ります。BCP(事業継続計画)については必要な訓練と研修に取り組

みリスクマネジメントを展開していきます。



2 在宅支援事業(短期入所及び日中一時支援)

短期入所事業については、在宅介護を行うご家族のニーズに対応して、サービス等利用計画及び個別支援計画に基づいて健康や安全に配慮した適切な保護を行い、利用者個々に応じたサービスの提供に努めていきます。また、緊急時の受け入れについても相談支援事業者と協議しながらより進めていきます。利用中の安全配慮にも努め安心して過ごせる場

コスモスワーク (就労継続支援B型事業)

高齢化・重度化が進むなか、利用者ニーズに寄り添った個別支援計画をもとに、利用者支援と工賃のバランスをとりながら生産活動に取り組めます。

働くことを通じて社会参加し、「働く喜び」を得られるよう支援していきます。個々の利用者の障害特性や能力・意向に配慮した作業を提供するため作業内容を見直すとともに、他者との協調性・コミュニケーション能力の向上を図ります。また、自主製品の製造販売や企業からの請負に取り組み、地域から必要とされる事業所となるよう努めます。

防災計画・事業継続計画に基づいてリスクマネジメントを強化するとともに、研修や会議を通して支援に関わる専門性を高めるとともに、虐待防止委員会を中心に利用者の権利擁護に努めます。

また、利用者からの相談や要望に応えるとともに、利用者家族・関係機関との連携に努めます。



コスモス共同生活事業所 (共同生活援助事業)

利用者個々の自主性を尊重しながら、その人らしく生活が送れるよう支援していくために、個々のニーズをしっかりと把握し、一人一人に合ったサービスを提供していきます。高齢化・重度化に対応し、家族と連携しながら、安心・安全な生活の場を提供していきます。また、地域行事にも積極的に参加するとともに、地域連携推進会議を設置して地域と共存するグループホームを目指します。研修や会議を通して職員の障

害に対する支援スキルを向上させ、利用者の生活の向上、権利擁護に努めます。また、感染症対策の徹底と医療機関との連携により、利用者の健康維持に努めるとともに、防災計画・事業継続計画に基づいてリスクマネジメントを強化します。



サポートステーションコスモス (計画相談支援事業 障害児相談支援事業)

利用者の方やそのご家族の希望、抱えている悩み・不安・課題の相談に応じ、置かれている環境を考慮した上で適切な福祉サービ

スが利用できる、安心して生活できる様サービス等利用計画や障害児支援利用計画の作成やモニタリングを行います。またご本人やそのご家族のニーズに寄り添い、丁寧に意思決定支援を行いながら、福祉サービスの事業所や学校、病院や保健師その他関係機関などとも連携を図り、希望する生活を送ることができるよう、きめ細やかな支援を行っていきます。

そして相談支援事業所としての基盤を整えて収益を上げていく事にも重点を置きながら、相談支援専門員として地域の資源となり、関係機関とのつながりや社会資源にも視点を置き、求められるサービスについて前向きに働きかけていけるようになります。

ほくほく児童クラブ (放課後児童健全育成事業)

放課後や学校休業日に、保護者が就労や介護などにより昼間家庭におらず、安心・安全が保障出来にくい児童について、適切な遊び及び生活の場を設けて、児童の健全な育成支援をしていきます。

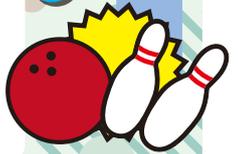
子どもの発達段階を理解し、個人差を踏まえて1人ひとりの心身の状態を把握しながら子どもが主体的な遊びや生活ができる

よう支援を行います。小学校や子どもを取り巻く関係者と情報交換を行い、家庭、学校から継続して安心して過ごせる生活の場となるように支援の充実を図っていきます。保護者と日常的に子どもに関する情報を共有することにより、安心して子どもを育て、子育てと仕事を両立できるよう支援していきます。放課後児童支援員、また補助支援員の資質向上を積極的に行い、研修・事後学習に取り組んでいきます。



コスモスワーク

ボウリングを楽しむ



2月14日、津山のツモクボウリングにて恒例のボウリング大会を行いました。真庭市内のボウリング場が休業したのですが、利用者さんがぜひボウリングがしたいとのこと、昨年津山に場所を移して、今回2回目となります。例年は1ゲームのみでしたが、今回は2ゲーム行い、利用者の皆さん存分に楽しまれた様子でした。

コスモス共同生活事業所 (共同生活援助事業)

地域生活へ第一歩!!

Nさんは、長年コスモスの園で暮らしてきましたが、この2月からグループホーム息吹に入居して共同生活をおくっています。移行にあたり、昨年12月から、グループホームを体験利用していただきました。初めは施設とは違う生活にとまどう様子もありましたが、他の利用者といっしょに生活し、買物や洗濯の練習もして、徐々にグループホームの生活に慣れてきました。

日中はコスモスワークに通い、作業に取り組んでいます。こちらも意欲的に取り組まれています。

Nさんにとって、初めての地域生活ですが、これからのいろいろな体験を重ね、地域の一員として過ごすことに期待します。



コスモスワークの作業に取り組むNさん



居室で絵を描くNさん



夕食を摂るNさん(中央)



北房ぶり市出店

2月2日(日)真庭市皆部商店街において北房ぶり市が開催され、秋桜会も後援会主催で出店しました。

前日の準備から当日の販売までご協力をいただいた後援会の皆様のおかげで、チャリティーバザー品や、昨年引き続き豆餅入りのゼン

ざいの販売を行いました。どちらも売れ行き良く、ぜひは昼過ぎに完売、コスモスワークも焼き芋、クッキーを販売し、大勢の来客でにぎわっていました。当日は、利用者の皆さんも会



場に行かれ、地域の方々とおふれあい、思い思いの飲食物を食べ、楽しまれていました。「ぶり市の風にあたると風邪をひかない」との言い伝えがあり、健康で一年が過ごせることと思います。後援会の皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様、来店していただいた皆様、本当にありがとうございました。

二十歳を祝う会

コスモスの園(障害者支援施設)



1月12日コスモスの園にて二十歳を祝う会を行いました。今回はコスモスの園で生活されている三谷凛太郎さんが二十歳を迎えられ、ご家族の方、来賓の方、利用者、職員みなでお祝いをしました。式典中には三谷さんの成長の記録としてムービーを流し、家族の方は懐かしむ気持ちに涙あり笑顔ありの良い雰囲気の中祝う会を開催することが出来ました。今日まで支えてくれたご両親、ご兄弟、お世話になった皆様に感謝の気持ちを伝えられたのではないのでしょうか。三谷さんの今後の成長と健康をお祈り致します。

お正月飾り



ぶらんこ楽しい!!

カルタ取り



ぼくぼる児童クラブ



こたつでトランプ

地域貢献活動

無料

コスモスおでかけ便 運行中



北房地区の方で、買い物等で交通の便が悪くお困りの方を対象に、定期便として『自宅～マルナカ北房店間』の買物等の送迎サービスを運行しています。ご利用にあたっては事前に会員登録が必要です。詳しくは、コスモスおでかけ便事務局までお問合せください。(☎52-4771)

職員募集



秋桜会では、入所の施設をはじめ、通所の作業所、グループホーム、放課後児童クラブ等の運営をしています。各事業所の利用者の生活・日中活動の支援及び介護等を行う職員を随時募集しています。お気軽にお問合せください。
詳しくは、求人担当(天野)までお問合せください。
(0866-521-4771)



コスモスの園
生活支援員
岩城 晃一

4月からコスモスの園で勤務させていただきます。持ち前の明るさとやる気を持って、先の方と利用者の方が作り上げてこられた施設の良き雰囲気いち早く自分も加われるよう精一杯頑張ります。至らない点も多いと思いますが、よろしくお願いします。

新職員紹介

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 伊藤知子 | 妹尾多美子 | 平 恵子 |
| 井口玲子 | 高田尚子 | 平 利行 |
| 稲田隆司 | 坪内生乃 | 藤井喜代子 |
| 岩井靖夫 | 土井章代 | 藤本雅子 |
| 奥田健治 | 中山直樹 | 牧山節子 |
| 片山美和子 | 中山美充子 | 的場敏恵 |
| 加戸宏司 | 成田邦朗 | 三ツ洋子 |
| 小林好恵 | 西谷勝男 | 湯浅 阪江 |
| 坂口勝美 | 西本昌子 | 吉田 昇 |
| 笹井悦子 | 原 一行 | |

〈後援会会員〉
ぶり市出店準備・当日販売 2月1日・2日

多くの方と交流ができました。ありがとうございました。これからも交流ができればいいなと思います。(敬称略)

交流 (ボランティア)

(12月~2月)

寄付

(12月~2月)

次の方より寄付をお受けしています。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。(敬称略)

池田 好司



編集後記



Instagram、ホームページで当法人の様子を公開！施設の日常風景を写真で紹介いたします。皆様のフォローや「いいね！」をお待ちしています！



秋桜会
ホームページ



KOSUMOSUKAI.HARE
Instagram

Quiz

前回の正解は「染物または「草木染」でした。当選された方に過日景品としてコスモスフークの授産品(クッキーセット)を送っています。

はがきに答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、コスモピアの感想を書き、〒716-11401 真庭市五名574-11 社会福祉法人秋桜会「コスモピアクイズ」係へ。正解者の中から5名に景品を贈ります。(締め切り4月末)

ヒントグループホーム001

「問」コスモスの園で生活されていたNさんは、地域生活を目指して新たな場所での共同生活を始めました。その入居したホームの名称は何でしょうか？



クイズ